

2011年9月28日

各 位

オリックス株式会社

## フィリピンで大型不動産開発事業に参画

### ～新都心にオフィス・ホテル・コンドミニアムの複合施設を建設～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、フィリピン第二位の商業銀行「Metropolitan Bank and Trust Company（以下「Metrobank）」傘下の不動産デベロッパー「Federal Land Incorporated（以下「Federal Land）」と、共同でマニラ市において大型複合施設を開発することで合意しましたのでお知らせします。

本プロジェクトは、Federal Land（70%）とオリックス（30%）が出資して合弁会社を設立し、マニラ市中心部のマカティ地区に隣接し近年急速に商業集積が進み注目が集まるフォートボニファシオ地区で、オフィス、ホテル、コンドミニウム、商業店舗の複合不動産開発を推進するものです。当地区は、マニラ市中心部から1.5km、国際空港から2kmという立地条件の良さなどから、オフィスや住宅が集積し、金融機関や外資系企業が多く進出するなど、今後新たなビジネスセンターとしての発展が期待できます。

本物件は、フィリピン最高層級となる地上66階建てのホテル・オフィス棟と地上51階建てのコンドミニウム棟、下層階にブランドショップや飲食店などの商業施設から成るランドマークとして誕生します。オフィス部分は、Metrobankグループが新本社として入居を予定し、ホテル部分は、世界各地で展開するHyattブランドの「Grand Hyatt Manila」としてマニラ最高級ホテルが開業する予定です。また、コンドミニウムは、フィリピンの富裕層や外国人投資家向けに分譲します。

オリックスは、1977年に現Metrobankと合弁でフィリピン初のリース会社を設立しました。1989年に自動車リース会社を設立し、以降2社をMetrobankと合弁で運営しています。また、Federal Landとは、2007年から総戸数825戸の高層ツインタワーのコンドミニウム開発を共同で手がけるなど、Metrobankグループを戦略パートナーとしてフィリピンで着実に事業基盤を構築してまいりました。

オリックスは、今後も成長が続くアジア市場において、国内で培った専門性とアジア各国に有するネットワークを活用し、収益の拡大を目指してまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報部 池田・堀井 TEL：03-5419-5102

## ■プロジェクト計画案概要

所在地：8th Avenue corner Rizal Drive, Bonifacio Global City, Taguig City, Metro Manila (マニラ市フォートボニファシオ地区)

土地面積：約 13,000 m<sup>2</sup>

延床面積：約 223,000 m<sup>2</sup> (2棟合計)

階数：(ホテル・オフィス棟) 地上 66 階建て、(コンドミニアム棟) 地上 51 階建て

用途：オフィス、ホテル、コンドミニアム、商業店舗

竣工予定日：(ホテル・オフィス棟) 2015 年春、(コンドミニアム棟) 2016 年春

(イメージ図)

